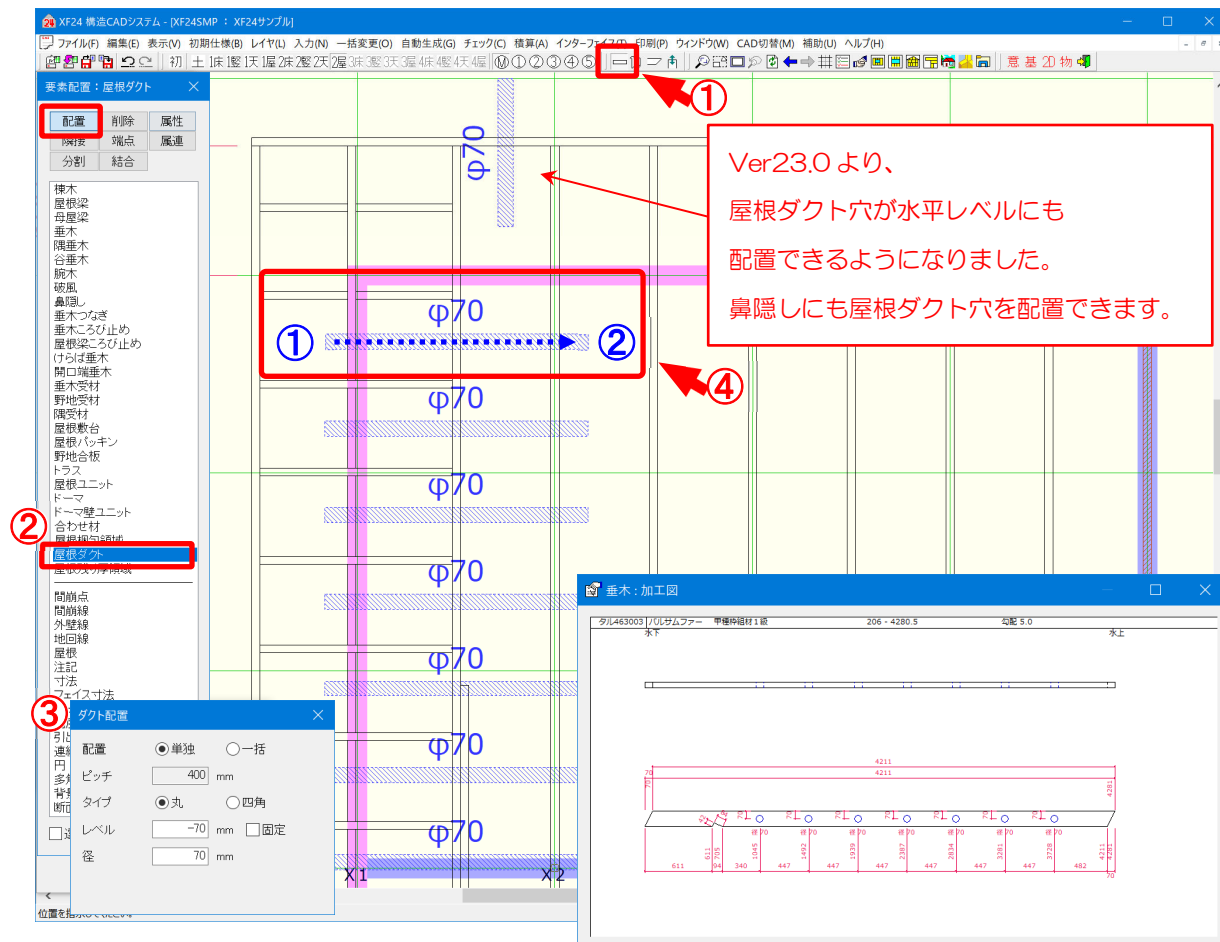



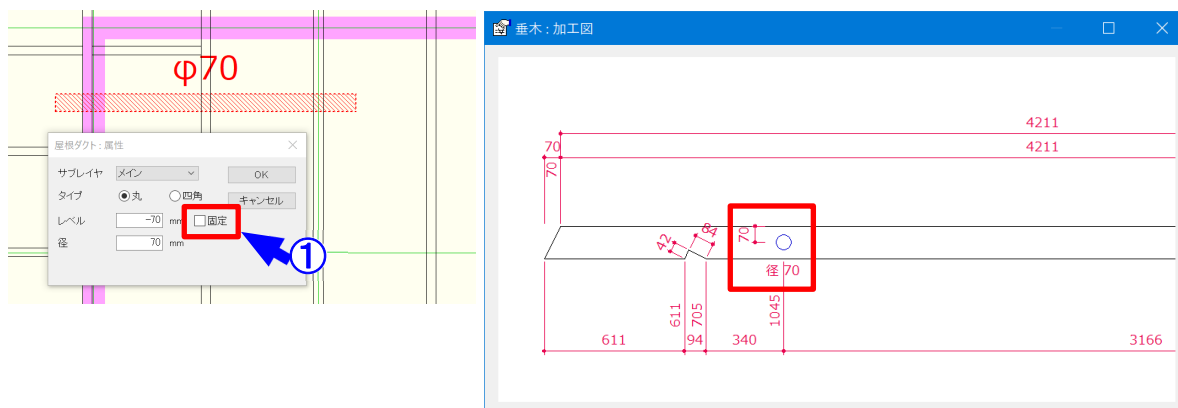
## 屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



### 配置 / 屋根ダクトでは、屋根レイヤでダクトを配置します。

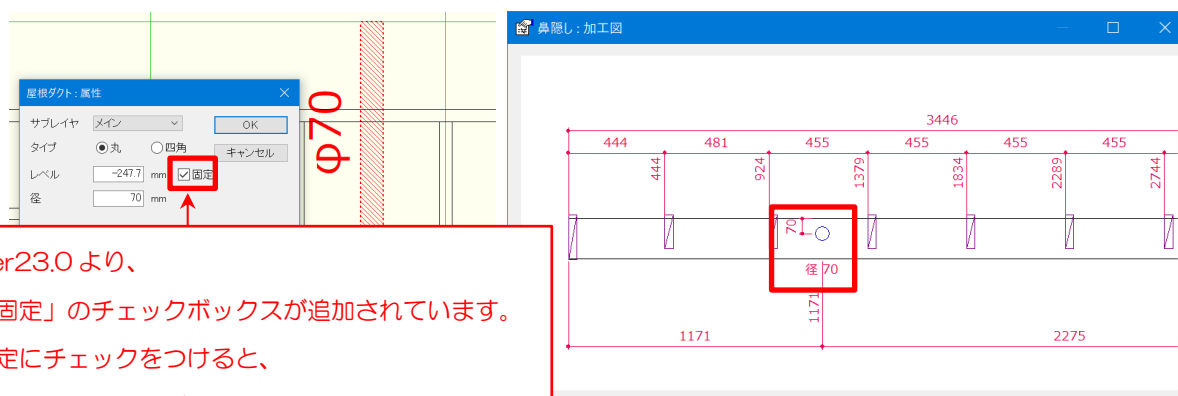
- ①  をクリックするか、〔入力 - 要素〕をクリックします。
- ② 「要素」の画面が表示されます。「配置 - 屋根ダクト」をクリックします。
- ③ 「ダクト配置」の画面が表示されますので、形状、配置レベル等を設定します。
  - ・配置：「単独」を選択すると、屋根ダクトを 1 本配置します。  
「一括」を選択すると、ピッチ指定して、屋根ダクトを領域配置します。
  - ・ピッチ：「配置」で「一括」を選択した際に、ダクトの配置ピッチを設定します。
  - ・タイプ：丸形状か四角形状のダクト穴を選択します。
  - ・レベル：屋根ダクトの配置レベルを直接入力で設定します。  
レベルを「固定しない」場合、垂木上端（屋根）を基準にダクト穴が配置されます。  
※配置基準レベルは、垂木上端（屋根）からマイナス値になります。  
※配置点に補正する為、レベルとタツ寸法は異なります。

屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



① レベルを「固定する」場合、水平レベルにダクト穴が配置されます。

※配置基準レベルは、軒高からプラスマイナス値になります。



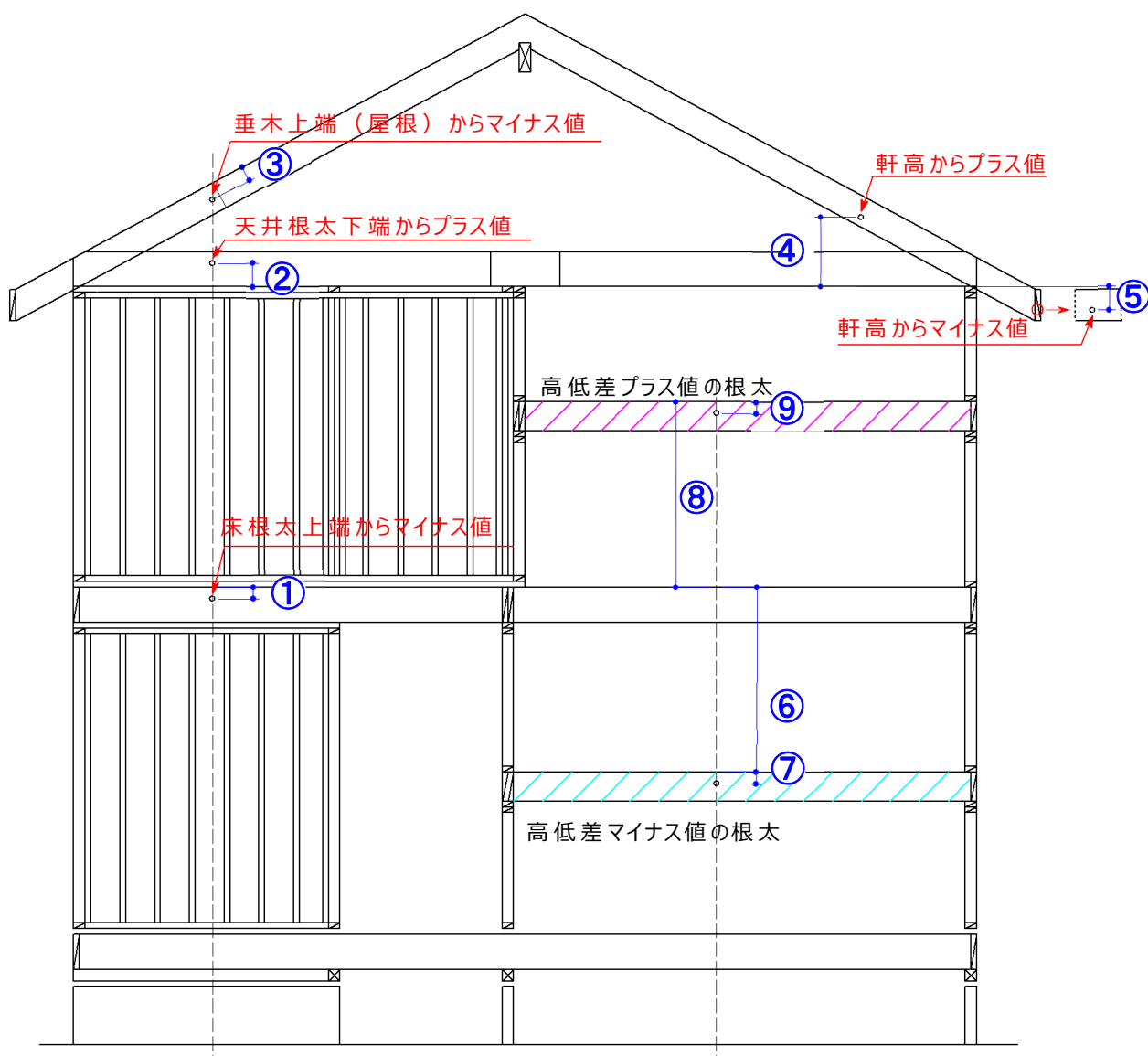
Ver23.0より、  
「固定」のチェックボックスが追加されています。  
固定にチェックをつけると、  
水平レベルに屋根ダクト穴を配置できます。

- ・径：「タイプ」で「丸」を選択した際に、ダクト穴の径を直接入力で設定します。
- ・巾／成：「タイプ」で「四角」を選択した際に、ダクト穴の巾、成を直接入力で設定します。

④ 「配置」で「単独」を選択した場合は、①～②点で屋根ダクトを配置します。

※〔自動生成－加工〕を実行すると屋根ダクトが生成されます。

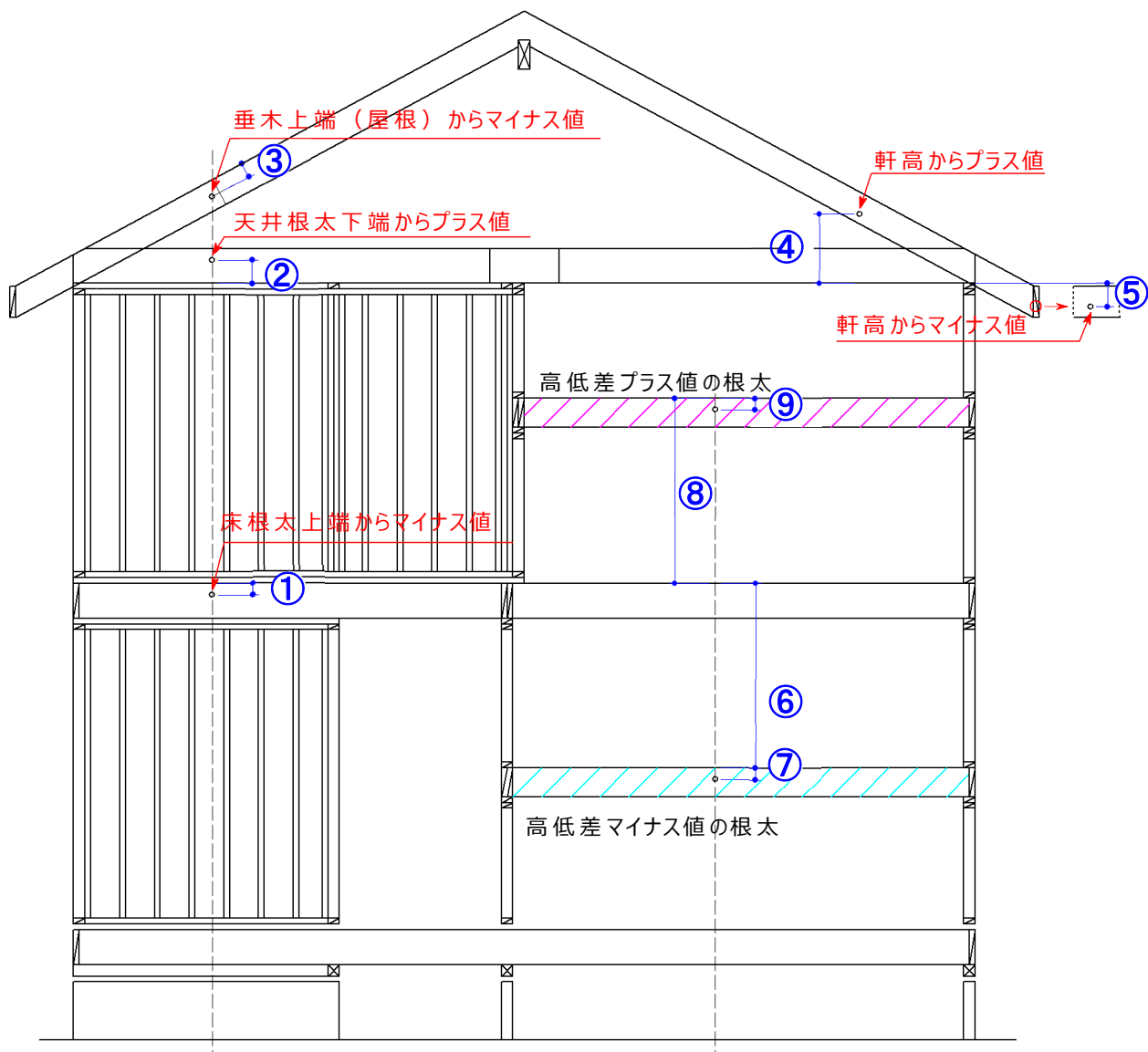
## 屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



## ＜ダクト配置レベル設定＞

- ① 床ダクトは、対象となる床根太上端レベルよりマイナス値（①）です。
- ② 天井ダクトは、対象となる天井根太下端レベルよりプラス値（②）です。  
※ 材に高低差がある場合、材高低差を考慮してレベル設定をしてください。
- ③ 屋根ダクトの勾配なりの配置は、対象となる垂木上端レベルよりマイナス値（③）です。  
※ 勾配は自動計算されます。
- ④ 屋根ダクトの水平レベルの配置は、軒高よりプラスマイナス値です。
  - ・軒高からプラス値（④）
  - ・軒高からマイナス値（⑤）

屋根ダクト穴加工配置の機能拡張



⑤ 高低差がある根太にダクトを配置する場合は、以下の通りになります。

- ・ 高低差がマイナス値の根太  
 マイナス高低差 (⑥) - マイナスレベル (⑦)
- ・ 高低差がプラス値の根太  
 プラス高低差 (⑧) - マイナスレベル (⑨)